

# 《50 周年記念事業》

## 企画書

### プロジェクトチーム

実行委員長	木村 浩一 (誕生亭 桂喜 18 期)
会計	大泉 直也 (沙多亭 内人 48 期)
会計	川原 潤子 (何方家 いるか 37 期)
渉外・イベント	飯塚 紹人 (松亭 まし太 49 期)
渉外・イベント	星野 健志 (印亭 冗ん寿 50 期)
渉外・イベント	水澤 有希 (季里舎 あてね 50 期)
渉外・イベント	浅野 成美 (堂下乃 かな 50 期)
渉外・イベント	松木 憲一 (替り家 志ん喬 16 期)
広報	上村 静佳 (囃子家 まつり 48 期)
広報	遠藤 文隆 (歛舎 甘激 49 期)
広報	佐藤 彩弥 (幻慈家 ほたる 49 期)
広報	西塚 千晃 (黄葉亭 もみじ 50 期)
広報	阿部 未萌里 (穂登乃 あかり 50 期)
総務	山野 遥奈 (栖都楼 べりい 48 期)
総務	西塚 千晃 (黄葉亭 もみじ 50 期)
総務	田口 一之(千客亭 万来 18 期)
影の実行委員長	小野寺 義輝 (笑門亭 来福 18 期)



## 1. 趣旨目的

昭和 40 年(1954 年)10 月、当時 2 年生だった遊佐信顕氏(松風亭枝楽)・浦風宣行氏(初代素禿亭名堀丹)・伊沢康行氏(馬耳亭念仏、現翁家小三馬)の 3 名により落語研究会が発足した。翌 11 月 11 日に愛好会として文化団体連合会に加盟、我々の学院大落研がスタートして、来る 2015 年にめでたく創立 50 周年を迎える事となる。その記念すべき年に、現役生と OB が一丸となって記念事業を企画運営致したく思っております。

我々は、これまで 20 回にわたり様々な世代の皆様方に集まっていただき、ミーティングを繰り返してまいりました。その討議内容により、以下の通り「50 周年記念事業」の企画内容を掲げます。

## 2. 記念事業理念

『50 年の歴史を振り返り、これからの 100 年に繋げる事業とする』

### <50 周年記念事業イベント実施>

#### 1. 開催日時

・平成 27 年 11 月 22 日(日) (三連休の中日)

※ただし、平成 27 年度は「50 周年記念イヤー」として、様々なイベントに「50 周年記念」を掲げてまいります(「50 周年記念 定期落語会」等)

#### 2. 内容

##### ① 50 周年記念落語会

・拠点である仙台市内において、現役生・OB による落語会の開催  
福祉プラザ・ふれあいホール(定員 302 名)

##### ② 50 周年記念祝賀会

・仙台市内において、祝賀会の開催  
TKP ガーデンシティ仙台(AER ビル 30 階)

## <50 周年誌の発刊>

- ・ 50 年の歴史を一冊の本にまとめあげ、各世代会員の誰が見ても興味のある内容に仕上げたい
- ・ 150～200 ページで、当時の写真や資料(プログラム等)を掲載  
※カラー40P、モノクロ 160P 程度(アジロトジ製本)
- (1) 記念誌発刊にあたり . . . . . 4 ページ  
学長・顧問・演技顧問・OB 会長・現役会長よりそれぞれ挨拶をもらう
- (2) 各代の代表による挨拶 . . . . . 30 ページ  
各代の幹事(又は、代理)より当時を振り返りコメントを掲載(写真も)
- (3) 50 年 年表 . . . . . 30 ページ  
50 年の歴史を年表形式で掲載(写真も)
- (4) 特筆イベントの掲載 . . . . . 20 ページ  
50 年の中で、特筆されるイベントの掲載(写真も)  
(談志ひとり会、〇〇周年行事、迷人落語会、元気の出る落語会等)
- (5) 会員持ちネタ集 . . . . . 30 ページ  
寄席文字による、会員全員の持ちネタを掲載
- (6) その他 . . . . . 10 ページ
- (7) 編集後記等 . . . . . 1 ページ

## <50 周年記念品制作>

- ① 日本手拭い  
ロゴ入り 単色又は 2 色 @600 × 200 本
- ② 湯呑茶碗  
ロゴ入り 単色 @400 × 200 本

## <落語研究会運営マニュアルの作成>

- ・今後 100 年続く落語研究会とするための、マニュアルを作成して、伝統を継承していく
- ・規約を継承しつつも、現状にあったマニュアルの作成  
(東北学院大学落語研究会とは? 活動内容とは? 総会・役員会・部会とは? 役員・会員の義務や権利、役割とは? 発表会とは?・・・等)

## <50 周年記念 DVD の作成>

- ・集まった資料(写真、プログラム等)をもとに、DVD を作成  
(全体のもの、各世代のもの、イベント毎)